

令和7年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：24011

学校名：東白石小学校

令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果 (前年度得点) ※矢印は前年度との比較		分析	
体力・運動能力 <男子>	○実技調査 T 得点 「反復横跳び」 56.8 ↑ (47.7) 「握力」 56.5 ↑ (51.3) 「立ち幅跳び」 55.8 ↑ (49.9) 「ソフトボール投げ」 54.0 ↑ (50.0)	▼実技調査 T 得点 「50m走」 49.4 ↑ (48.2) 「20mシャトルラン」 49.7 ↑ (46.5) 「上体起こし」 49.9 ↑ (46.3) 「長座体前屈」 51.7 ↑ (50.3)	男女ともに全ての種目において昨年度を上回り男子は5、女子は6種目で全国平均を上回った。50m走、20mシャトルランは同程度かやや下回っており、走力・脚力を高めるような運動を、無理のない範囲で準備運動等に組み入れると効果的。
体力・運動能力 <女子>	○実技調査 T 得点 「立ち幅跳び」 56.1 ↑ (49.8) 「握力」 54.8 ↑ (49.3) 「反復横跳び」 53.2 ↑ (46.8) 「ソフトボール投げ」 51.3 ↑ (45.9)	▼実技調査 T 得点 上体起こし 46.6 ↑ (46.2) 「20mシャトルラン」 47.7 ↑ (42.3) 「50m走」 50.3 ↑ (46.2) 「長座体前屈」 50.7 ↑ (49.9)	上体起こし、20mシャトルランは男女とも全国平均を下回っている。持久力を高める運動を準備運動に入れたり、体づくり運動でも重点的に取り組んだりすることで底上げを図りたい。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	○Q1 運動が好き・やや好き [男子/女子] % R5 [88.5/85.7] ⇒ R6 [100/90.2] ○Q3 中学校でも自主的に運動したい R5 [88.5/78.6] ⇒ R6 [100/87.8]	▼ Q8 平日のスクリーンタイム 4~5時間以上 [男子 55%・女子 34.2%] 全国 27.3% ▼ Q17 運動食事睡眠に気を付けた生活を送っている 否定的回答 [男子 22.5%・女子 19.5%] 全国 16.8%	運動や体育の授業が好きな児童の割合は高く、男子では100%。女子との差が若干見られるため、女子や運動が得意でない児童に対し、前向きになれるような指導や認め合える雰囲気や授業に限らず様々な場面で創ることを目指したい。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○体力向上の手立て <ol style="list-style-type: none"> ①運動量の確保 ②体力を高める運動を継続的に取り入れる ③体力向上に向けた教育環境を工夫・整備する。 ○体育が好きになるための手立て <ol style="list-style-type: none"> ①各単元の系統性を重視し、できることを少しずつ増やすような安心感のある指導を行う。 ②ICTの利用、交流の機会を増やし、自他の動きを知り、上達を目指す足掛かりとする ○体力テストウィークの実施 <ol style="list-style-type: none"> ①練習時間の確保 ②技能を向上させ、運動意欲を高めることで、体力を高めることを目指す 	<ul style="list-style-type: none"> ○自己の目標を意識した体力向上の取組を重視する。「体力づくりカード」に1分間縄跳びの回数を記録し、キャリアパスポートファイルに6年間分を保存 ○運動ウィークの実施 「鉄棒」「マット運動」「跳び箱」、体力テスト」の学習時期に合わせ、休み時間に安全で効率的に運動を行うことができる場をつくる。 ○各教室にダブルダッチ用長なわとびを配付し、休み時間等に遊ぶ場をつくる。 ○実施中の単元に合わせて、休み時間にボール運動やリレー、幅跳びなどを行えるようにする。 ○冬場は、「ちょこっと運動コーナー」を開設し、体育館以外でも体を動かせる機会を創出。 ○「雪かきチョボラ」「雪遊びチャレンジ」等の実施・外遊びの推奨も含め冬期間の運動量の確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ○食育の推進 <ol style="list-style-type: none"> ①栄養教諭の専門性を生かした食に関する指導の充実 ②学校給食を通したフードリサイクルの推進 ③家庭と連携した食育指導の工夫 ○こころとからだのいのちに関する指導の充実 <ol style="list-style-type: none"> ①年間指導計画の見直しと充実 ②養護教諭の専門性を生かした性に関する指導や、生活リズム（スクリーンタイム含む）についての指導の充実 ○基本的生活習慣の確立 <ol style="list-style-type: none"> ①保健、学活、総合的な学習の時間等を活用し、指導の充実を図る、家庭との連携
--------	---	---	--

家庭・地域との連携・協働	<ul style="list-style-type: none"> ○保健体育の評価規準に基づく学習状況評価結果の活用(日常の実技テストや観察等)⇒体育専科の活用による体系的な指導の確立 ○全国体力・運動能力、運動習慣等調査を活用⇒小中一貫教育の中で、パートナー校同士の交流・意見交換を実施 ○学校独自の児童・生徒アンケートや保護者アンケート等の活用 ○学校評議員会・学校関係者評価等の活用
--------------	--

